

事業者等向け放課後等デイサービス評価表の集計結果(公表)

公表日

2024年 3月 31日

事業所名

さわやか愛の家もじ館

対象職員数:

4 名

回収数:

4 名

回収率:

100.0%

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善点	改善に向けた具体的な取り組み
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0		利用定員に対し、適切なスペースです。活動内容によって机等の配置を変える等工夫をしていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1	0		人員基準は満たしていますがより良いサービスを行う為にも今後は人員を増やす予定です。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置等バリアフリー化の配慮が適切にされているか	0	4	0		完全バリアフリー化は困難ですが、安全にご利用いただけるよう引き続き取り組みます。スロープの設置が難しい場所においては手すりを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	4	0	0		毎日、朝礼、終礼、ミーティングを行い情報共有、目標設定と振り返りを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4		第三者による外部評価は行っていません。様々な機関からの評価に耳を傾け、業務改善に努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0		活動プログラムの計画書を作り、職員全員で活動内容の確認、準備を行っています。

	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	ミーティングを行い、平日、休日、長期休暇とそれぞれの時間に合わせた支援ができるように課題を設定し支援をしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	勤務の終了時間が異なる職員もあり、終了後に全員での振り返りができない時もありますが、業務日報や翌日のミーティングで振り返りを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気づいた点等を共有しているか	4	0	0	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	0	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	0	0	児童発達管理責任者が会議に参加することが多いですが、現場の職員にも参加してもらえ機会を増やしていきます。
関係機関や保護者	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	4	現在、医療的ケアが必要な児童はおりませんが、医療的ケアが必要な児童を引き受ける場合、契約時に伺った主治医等と連絡体制を整えています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	4	0	保育園や幼稚園とは現在情報共有ができていませんが、児童相談支援事業所や学校等と情報共有に努めています。

との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4	0	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、情報共有に努めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	0	専門機関の研修を受ける機会が少ないので、研修がある際、積極的に職員に参加を呼びかけていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	
関係機関や保護者との連携	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	4	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	0	ペアレント・トレーニング等の支援を行っているよう努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時やモニタリングの際に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	4	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	お便りやLINE、ホームページを活用してお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	0	事業所へ地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を行って参ります

非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0		
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	4	0		現在、身体拘束を要する利用者はおりませんが、万が一今後身体拘束を必要とする場合、保護者・相談支援事業所と基本的な拘束の時間等話し合い個別支援計画に明記して参ります
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか	0	4	0		食物アレルギーのある利用者について医師の指示書に基づく対応をしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0		ヒヤリハットの記録を些細な事でもつけていくよう職員間で再度確認していきます。